

《構成を考えて主張をまとめる 話例》

三年 組 番 氏名 〃

優先席の是非

皆さんは、電車やバスに乗るときに、優先席の表示を見たことがあると思います。私は、皆さんは、電車やバスに乗るときに、優先席の表示を見たことがあると思います。私は、優先席を必要とする人が座れない様子を見るたびに、優先席は必要ではないのではないかと考えるようになりました。

それでは、具体的にどうしたらいいのでしょうか。まず、私が主張したいのは、優先席の代わりに専用席を設けるべきだ、ということです。

「優先」では、席を譲るかどうかは利用する人々のマナーに委ねられています。しかし、「専用」とすることで、座席を必要とする人が確実に座ることができるようになります。私がクラスの人にアンケートをとったところ、八割の人から専用席のほうが効果的だという意見も出しました。

このような専用席を実際に取り入れているのが、札幌市の市営地下鉄です。専用席を導入する以前は、優先席が効果的に利用されていないという実態があり、本来の優先利用の対象である高齢者や体の不自由なかなどが座れないとの声が多く寄せられていたそうです。そのことから、市議会で議論を行い、一九七五年四月に、専用席に変更したそうです。その結果、優先席のときよりも座席を必要としている人が利用できてくるようです。

いちばん大切なことは専用席を設け、座席を必要とする人が、座席に座れるような環境を作ることです。そのことで、電車やバスの中だけでなく、日常生活においても、周囲の人々への心配りにつながっていくのだと私は思います。